

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号

機構 04 - 134

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		修了者番号
	①	加藤 正樹	H0601051
	②	明石 武久	H1601015
	③	伊瀬 卓	H1801008
	④		
	⑤		
	⑥		
福祉サービス種別	認可外保育施設(ベビーホテル等)		
評価対象事業所名称	エンジェルキッズ亀有園		
利用形態(複数選択可) (該当する形態を選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 月極保育 <input type="checkbox"/> 時間預かり(一時預かり)保育		
事業所連絡先	〒	125-0061	
	所在地	葛飾区亀有3丁目29番1号 リリオ式番館207号室	
	TEL	03-6662-7607	
事業所代表者氏名	遠藤 みゆき		
契約日	2020年 9月 1日		
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 10月 14日		
利用者調査結果報告日	2020年 11月 13日		
自己評価の調査票配付日	2020年 10月 14日		
自己評価結果報告日	2020年 11月 13日		
訪問調査日	2020年 12月 21日		
評価合議日	2021年 1月 21日		
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	<p>事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。</p>		

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021年 3月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【1. 自主性を重視した運営】 職員ひとり一人が自分の思いや考えを伝えを実現できるよう、日々のコミュニケーションや話し合いの場を大切に、自らが子どもと楽しめる保育を行う。共通理解を持ち、自分たちで保育園を作り上げる。</p> <p>【2. ひとり一人に丁寧な保育】 ひとり一人に寄り添い、「自分のことを大切にしてもらっている」「愛してもらっている」ということが、子どもに伝わるような愛情のかけ方や、丁寧な関わり方で寄り添う。（愛着関係・信頼関係）</p> <p>【3. 子どもたちの自主性を育む体験】 自らの「やってみよう！」「やってみよう！」の気持ちを大切に、子どもの可能性を広げる保育。自らがあそびを選び、保育者の手を借りながら発展させていく。あそびの幅が広がるような環境設定。</p> <p>【4. 子ども心の育ちを大切に保育】</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none">○明るく、表情豊かな人材○思いやりが持てる○柔軟性、協調性がある○自主的、自発的に行動ができる○臨機応変な対応が出来る <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none">○ひとり一人が、自分の思いや考えをしっかりと持ち職務にあたる。○得意分野を活かし、お互いを尊重し合いながら、共に成長できる環境を整える。○チームとして協力し合える環境をひとり一人が意識する。

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。
[調査対象世帯数：17世帯(在園児17名)]

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。

利用者総数	17
利用者家族総数(世帯)	17
共通評価項目による調査対象者数	17
共通評価項目による調査の有効回答者数	14
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	82.4

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」64.3%、「満足」28.6%、「大変満足」と「満足」を合わせて92.9%の回答率となっています。「どちらともいえない」「不満」「大変不満」が0.0%、無回答が7.1%でした。園のサービスに対する保護者の満足度が高いことが確認されました。個別設問では、問1「活動や教育等のプログラムは心身の発達に役立っているか」問2「園活動への興味や関心を示し、学びや遊びを楽しんでいるか」問6「安全対策が十分取られていると思うか」問10「職員の接遇・態度は適切か」問13「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」について「はい」の回答率が100.0%で最も高く、問17「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか」では「はい」の回答率が42.9%と最も低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答・ 非該当
1. 保育施設での活動は、子どもの心身の発達に応じたものとなっているか	14	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100.0%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
2. 保育施設での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	14	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100.0%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、園活動について満足を示す声が複数寄せられました。				
3. 【保育施設からの食事提供を受けている方のみ】 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	12	2	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の85.7%を占め、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				

4. 保育施設の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	3	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の78.6%を占め、「どちらともいえない」が21.4%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	0	0	3
この項目では、「はい」と答えた方が全体の78.6%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が21.4%という結果でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	14	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100.0%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	11	1	0	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の78.6%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が14.3%という結果でした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育施設に信頼関係があるか	13	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	12	2	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の85.7%を占め、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100.0%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	0	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の100.0%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	13	1	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	0	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.9%を占め、「どちらともいえない」が0.0%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が7.1%という結果でした。				
17. 外部の苦情窓口(行政等)にも相談できることを伝えられているか	6	4	2	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の42.9%を占め、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が14.3%、「無回答・非該当」が14.3%という結果でした。				

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリ1～3、5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学が要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、行政機関等相談先に関する情報の提供をしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ1の講評			
<p>リーフレットやホームページ、園のブログを通じて利用者に情報を発信しています</p> <p>「エンジェルキッズ亀有園のごあんない」と題したA4サイズのリーフレットには、運営企業の保育方針や理念、目標などと合わせて園での一日の流れや地図などを掲載しています。ホームページも充実しており、「仕事と育児の両面から働く女性を支える」という運営企業の方針のほか、「一人ひとりにていねいな保育」というコンセプトや保育の特色、給食内容などの情報を掲載しています。そのほか、園の日々の活動もブログを通じて公開されており、毎月数回の頻度で写真を多用しながら、あそびや行事の様子を子どもたちの笑顔とともに伝えています。</p> <p>園の情報は利用希望者だけではなく、行政や地域に対しても幅広く発信しています</p> <p>園の情報を掲載したリーフレットを地域の児童館に設置しているほか、葛飾区のホームページからも園の連絡先や定員、0歳児保育の対応や土曜保育の有無を確認することができます。また、同園が加盟している小規模保育園連盟のホームページにも園の情報が掲載されており、地図上に園のホームページにリンクが貼られています。連盟のホームページには、園の所在地のほかにも小規模認可園の概要が説明されており、定員が少ないメリットや小規模保育園A型の特長など利用希望者に有益な情報が掲載されています。</p> <p>利用希望者のスケジュールに合わせた見学会を通じて園の特長を説明しています</p> <p>見学に対する要望は利用希望者の都合に応じて園長が随時対応しています。見学者に対しては日中活動の様子を紹介するほか、小規模保育の特徴でもある寄り添う保育・主体性を育む保育について説明しています。一方で、開設4年目と比較的新しい園であることと、小規模保育園自体も2015年に新たに認可施設となった保育園であることから、園の認知向上に取り組んでいます。児童館等の関係機関へのリーフレットの設置や地域イベントへの参加、またブログをはじめとするホームページの拡充を通じてその実現に努めています。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前の保護者とのコミュニケーションを通じてサービス内容の理解促進を図っています</p> <p>区による入園決定後一週間以内に説明会を開催するようにしています。サービス内容は重要事項説明書に従って説明し、プライバシー保護については、個人情報保護方針および個人情報の取り扱いについての同意書を介して内容理解を促しています。園では、これらの説明が一方的にならないよう、個人情報に留意しながら入園に対する不安を取り除くことに配慮しています。特に、初めて保育園を利用する保護者は説明会の内容だけではその場で不明点が思い付かないことも多いことから、見学の際、電話等での問い合わせも歓迎の旨を伝えています。</p> <p>入園後の園児の不安やストレスを軽減させるための柔軟な対応を行っています</p> <p>「既に保育園や幼稚園等にお通いであっても、園が変われば環境が大きく変わります。子ども達にとって慣らし保育の期間は必要であると考えます。」とホームページに記載の通り、まずは一週間の慣れ保育の期間を設け、この間の状況により延長もしています。不安の軽減が見られない場合には、母親が普段身に付けている衣類などを一時的に預かるケースもありました。一方、保護者に対しても連絡帳やおたより以外のコミュニケーションも大切にしており、日々の登降園時には口頭でのやりとりを通じて不安解消に努めています。</p> <p>卒園や転園、退園する園児や保護者に対する更なる支援の継続性を模索しています</p> <p>当園では2歳児までを対象としていることから、毎年3月には1～2年を一緒に過ごした園児同士のお別れ会を行っています。また、同月には保護者会も行い、卒園を迎える園児たちの発達段階等について説明をしています。なお、卒園を迎える園児の発達記録などは園で保管することになっていますが、小学校就学に向けてこれらの情報を有効活用できるよう、保護者に対するコミュニケーションの拡充や転園先との連携強化のあり方を模索しています。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
運営企業で統一された様式を用いて園児の様子を記録・管理しています 園児の心身状況や生活状況をもれなく把握し個別の課題設定ができるよう、本部の定める様式に沿って情報を収集するようにしています。また、児童票には児童名や家庭の状況・送迎者のほか、小児科外科等のかかりつけ医院の情報や出生・発育歴、風疹や中耳炎、熱性けいれんなどの過去の病状やアレルギー等の体質を確認する欄が設けられています。また、身体測定記録や予防接種一覧からなる健康カードや食物アレルギー調査票なども用いながら、園児の様子を記録しています。			
保護者に対して指導計画をより分かりやすく説明するための方法を検討しています 0～2歳児それぞれの年間指導計画は4期ごとにねらいを設け、さらに月齢ごとの区分で養護・教育・環境構成等の実施内容を定めています。また、年度始めの保護者会で方針などの全体感を伝えた後にクラスごとに分かれ、それぞれの保育活動の説明をしています。なお、年間指導計画に定められている内容は、園だよりや毎日の活動を記載するホワイトボードを用いてわかりやすく伝えることを心がけています。さらに、園では、年間指導計画のさらなる理解促進を図るべく、重要事項説明書への同計画の掲載なども検討しています。			
職員会議や毎朝のミーティングなどを通じて園児に関する情報の共有を図っています 保育目標の達成状況や指導計画の推進状況はクラス別会議で評価・共有するとともに、毎月1～2回開催する職員会議で全体にも共有しています。なお、職員会議には園長と非常勤も含む保育士、調理師も参加することとなっています。また、職員間の日々のコミュニケーションは毎朝8時30分から実施するミーティングを中心に、シフトの異なる職員間では登降園時申し送り表や園日誌を用いて情報共有しています。そのほか、職員会議録や申し送り表の内容に共有漏れがないよう、閲覧チェック欄を設ける等の工夫も行っています。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の取り扱いに関する同意書を通じて保護者に対する説明を行っています</p> <p>園のホームページ上のブログに、園児の写真入りの活動内容を公開することも多いことから、個人情報の取り扱いに関する保護者への説明を重要視しています。サービス開始時に保護者へ説明する重要事項説明書の最終ページに、個人情報保護方針および個人情報の取り扱いに関する内容を掲載しています。また、秘密保持の厳守や利用範囲も明記するほか、個人情報取扱いの同意書とホームページ写真掲載同意書を事前に得るなど、保護者との間に認識の相違が生じないように配慮しています。</p> <p>本部作成のハラスメントと人権マニュアル等により子どもの権利阻害防止に努めています</p> <p>園運営企業の作成したハラスメントと人権マニュアルの配付や読み合わせ、園長・本部運営課担当社員の助言・指導により、職員間で子どもの権利を尊重する関わり方の共通認識を持つようにしています。このマニュアルにはハラスメントの定義や種類、事例や対応について明記しているほか、人権侵害に関する解説なども掲載しています。一方で、その内容は社会人を対象にしたものが多い印象であったことから、子どもの権利や意思の尊重をテーマにした解説や事例等の追加も検討しています。</p> <p>年2回の虐待防止研修を通じて職員の理解促進に努めています</p> <p>例年、4月と11月に園内で虐待防止研修会を実施し、マニュアルの確認や事例検討などを行っています。本部の定める虐待防止マニュアルには児童虐待の定義や種類のほか、虐待における保育園の役割として①虐待の発生予防②虐待の早期発見③虐待が発生している家庭への援助の3点を明記しています。なお、虐待を見過ごすことのないよう、発見時における子どもや保護者の様子も列挙されています。そのほか、虐待が疑われた際のフローチャートも整備し、児童相談所や子ども総合センター等の関係機関連絡先も明記することで対応力を高めています。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>園の運営に関する事項はスタンダードマニュアルにまとめられています</p> <p>園のスタンダードマニュアルは、「職員が意思統一し同じように対応することによって、子ども達は見通しを持って生活できるようになります。まずは、大人が意識して人としての生活力を身に付けていきましょう。」という文から始まり、排泄・着脱・食事の具体的な支援内容を定めています。それらは年齢や月齢区分ごとに分けて詳細に記載するとともに、着脱時における子どもの羞恥心への配慮などの重要事項を強調して記しています。</p> <p>リスクマネジメントは本部が策定したマニュアルに沿って行っています</p> <p>災害発生時や感染症流行発生時における事業継続計画や虐待防止に関する取り組みのほか、職員に求められるコンプライアンスなどに関するマニュアルは、園の運営本部が作成・管理しています。特にコンプライアンスの徹底には力を入れており、保育園運営における関連法令や規則の遵守のほか、個人情報や機密情報の適正な管理、差別的言動やハラスメントの禁止をはじめとする、人権の尊重などに求められる具体的な行動をマニュアル化しています。園では、毎月のコンプライアンステストを通じてこれら内容の理解促進に努めています。</p> <p>毎年マニュアルを改訂することで業務水準の維持向上を図っています</p> <p>園で利用しているマニュアル類は毎年内容を見直しています。排泄・着脱・食事をはじめとする日々の保育に関する内容は、職員主導で見直しをしており、職員会議を通じて園全体の合意形成と内容の共有を行っています。一方で、防災や感染症、アレルギー対応や個人情報の取り扱いなど、リスクマネジメントに関するマニュアル類は本部主導で見直しを行っています。本部主導のマニュアル改訂の際は現場の意見を園長が持ち寄り、実効性についても考慮しています。</p>			

II サービスの実施項目(サブカテゴリ-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	37/37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児が利用している保育施設のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>静と動それぞれの遊びのコーナーを設けることで、園児の主体的な活動を促しています</p> <p>園児が主体性を持って活動に取り組むことができるよう、静と動それぞれのあそびのコーナーを区分けしています。静のコーナーでは絵本を読んだりお絵描きをする一方で、動のコーナーではダンスやマット運動あそびを行うスペースとしています。同園は定員19名施設面積108平方メートルの小規模園ながら、ワンフロアのスペースをパーテーションで区切りながらコーナー設定をしています。また、ワンフロアの利点を生かすべく、園児の興味や関心に合わせた柔軟な環境設定にも注力しています。</p> <p>異年齢の園児と常に触れ合う環境を通じて、お互いを尊重する心を育てています</p> <p>0～2歳それぞれが年齢別のクラスとなっており、10時からの設定保育等ではクラス別の活動を行っている同園ですが、ワンフロアで生活していることもあって常に異年齢の園児と触れ合う環境が用意されています。また、午睡やおやつは同じ時間に同じ場所で行われることから、異年齢の園児同士の交流も多く、午睡のあとには一緒になって楽しく室内を走り回る様子が伺えています。また、おやつの中には、年下の園児が年上の園児の真似をしながら職員に手指消毒してもらうなどの姿も見られています。</p> <p>子ども同士のトラブルには保育士が仲立ちし、根気よく対応することを心がけています</p> <p>かみつきなどの子ども同士のトラブルには保育士が仲立ちし、根気よく対応していくことを方針としています。保護者に対しては、園だよりを通じて子どもの自己主張に関する情報を発信しています。併せて、自分の物も他人の物も区別がつかない子ども同士だから取り合いが起ることや、譲ること・我慢することの体験を通して園児たちが学んでいることを保護者に伝えています。このような取り組みもあってか、子ども同士のトラブルに関する園の対応を信頼する保護者が92%という結果になりました。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時には園児の健康状態や送迎時間、送迎者を確認するようにしています

毎朝の登園時には園児の健康状態や送迎時間、および送迎者を確認するようにし、職員間で引き継ぐべき内容は申し送り表に記載することで伝達漏れを防いでいます。また、降園時には保護者一人ひとりとコミュニケーションを取るよう心がけており、一日の園児の様子や日中活動のトピックなどを伝えるようにしています。特に、その日に事故やケガがあった際にはその内容を必ず口頭で伝えることをルールとしています。そのほか、園の一日の流れや保育内容については、園入り口に設けたホワイトボードを使って伝えています。

園児一人ひとりの気持ちを大切に、基本的な生活習慣を身につける支援をしています

食事や排泄などの基本的な生活習慣は決して無理強いすることなく、個々の状況に合わせてゆっくり丁寧に対応するようにしています。一方で園の定めるスタンダードサービスマニュアルに沿い、着脱時には全裸にならず順を追って着替えていくことや、トイレトレーニングは膀胱がある程度成長した段階で暖かい時期から始めるのが良いこと等を職員間で周知しています。保護者の関心ごとでもある生活習慣に関する援助については、園のホームページのQ&Aにも掲載しており、おむつやトイレは子どもの発達段階に応じて進める旨を伝えています。

午睡時間に眠れない園児に対しても、コーナーの設定で柔軟に対応しています

0歳児はベビーベットと通気性の良いマットレス、1・2歳児はコットを使って午睡をしています。午睡の時間は0歳児は約3時間、1・2歳児は約2.5～3時間としています。その間、0歳児は5分ごと、1・2歳児は10分ごとに、チェック表を用いて顔の向きや体温を確認しています。午睡はワンフロアの室内で行っていますが、眠れない園児や早く目が覚めた園児が無理なくおやつまで待てるよう、コーナーの設定で対応しています。午睡の様子も日々変わることから、職員もその時々状況に応じて柔軟にコーナーの設定を行っています。

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
---	--	------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

ごっこ遊びや絵画プログラムなどを通じて園児の表現力を育てています

園児が好きな遊びを見つけ楽しめるよう、園では様々な遊びを充実させています。散歩に出られない雨の日でも室内でダンスや体操など、園児たちがのびのびと体を動かして遊んでいます。また、色々なテーマのごっこあそびも行っており、保育士の先生役とその園に通う園児役に分かれて行った保育園ごっこでは、保育士顔負けの先生ぶりを発揮していました。また、絵の具を使ったあそびでは、汚れてもいいシャツを着た園児たちが、テーブルに敷かれた布の上に様々な野菜スタンプを押すなど、自分の興味に沿って遊んでいます。

コーナー遊びの設定や職員の言葉かけは園児の主体性が発揮されるよう配慮しています

園では、園児達が遊び始める空間を設けられるよう、低いパーテーションや机でワンフロアの室内を区切り静と動のコーナーを作っています。園児たちは自分の興味やその日の気分に応じて、静のコーナーで絵本やブロックあそびをしたり、動のコーナーでダンスなどを楽しんでいます。一方で、園児が自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、職員は園児たちに先を見通した言葉かけをするよう心がけています。「ブロックを片付けましょう」ではなく「片付けたら次は何しようか」というような働きかけが、園児の主体性を育てています。

駅前という立地ながらも様々な目的に沿って散歩コースを選んでいます

亀有駅から徒歩数分の立地にある同園の周辺は、大型の商業施設や国道・商店街等が大半を占めているものの、園では自然を身近に感じられるような工夫をしています。散歩のコースも季節の移り変わりに応じて複数のコースを選べるようにしているほか、商店街の店前にあるプランタに植えられた植物などからも四季を感じています。また、行き先の公園もあそびの内容によって使い分けています。例えば、追いかけてこやボールあそび・かくれんぼなどの運動を目的とした公園や砂場あそびを楽しめる公園など、限られた地域資源を有効に活用しています。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

保護者も参加する夏まつりやふれあいあそびを通じて、保育に潤いを持たせています

例年8月に行われる夏まつりでは、保護者も参加しながらごっこあそびなどを楽しんでいます。今年度は園児たちと園の職員で縁日ごっこを行い、その様子は園のブログで保護者に伝えました。夏まつりは2日間に渡って開催し、はっぴに着替えた園児たちは手作りの財布とお金を持ち、おにぎり屋さんでの買い物や金魚すくい、かき氷作りを楽しみました。また、10月に行われる親子ふれあいあそびではダンスやマット運動など、家庭でもできる内容に親子で取り組むことで家庭でのあそびの充実も図っています。

絵本や室内の装飾で園児の興味を引き出しながら四季折々の行事を実施しています

園では子どもの日のお祝いやたなばた会のほか、クリスマス会や節分など、年間を通じて四季折々の行事を行っています。それぞれの行事に園児が興味を持てるよう、こいのぼりの制作や願いごとを書いた短冊を園内の笹の葉に飾るなどしています。クリスマス会では、室内の装飾以外にも絵本や紙芝居を楽しんだり、節分行事では段ボールで作った鬼に新聞紙で作った豆をまくなど、様々な工夫のもと、園児が四季の行事に取り組める環境を用意しています。

家庭でもできる遊びを保護者に伝えることでコロナ禍における行事縮小に対応しています

コロナ禍における行事等の縮小に対応すべく、園でのあそびを積極的に保護者に伝えていきます。特に、親子ふれあいあそびで行うダンスや体操が家庭でもできるよう、ふれあいあそびの様子や手製のブロックを使った室内運動の内容を発信しました。また、秋の遠足や保護者の参加を避けて行った夏まつりの様子を家庭で見てもらえるよう、園児たちの様子をブログに掲載しています。

5 評価項目5

在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

静の遊びの空間を作ることで、園児がくつろげる環境を確保しています

在園時間の長くなる園児が安心してくつろぐことができるよう、園児がひとりで心を落ち着ける場所として休憩を取れるコーナーや0歳児の保育室を設定しています。そのほか、絵本を読むなどして過ごせる静のあそび空間も設けています。また、延長保育の時間は職員を2名以上配置し、園児と保育者が1対1の落ち着いた環境で、ぬいぐるみやブロックあそびをしながらゆっくり過ごしています。

園児への家庭的な寄り添いや、日中からのあそびの継続性を大切にしています

16時から始まる延長保育であそびの継続性が途切れてしまうことのないよう、また在園時間の長い園児に対してより家庭的な寄り添いができるよう、園では園児が自分で好きなあそびを見つけて楽しめる環境を用意しています。延長保育では1・2歳児保育室を使った合同保育を原則としながらも、園児の希望によっては園内を散歩しながら外を走る電車やバスを眺めることもあります。さらに、延長保育の環境が固定化しないよう、コーナー設定も日々変更を加えるなどの配慮をしています。

6 評価項目6 子どもが安全な環境のもと食事を楽しめるよう配慮している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが安全に食事をとれるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

園内栽培や調理体験などによる、五感を使った食育活動に取り組んでいます

苦手な食材を少しでも食べられるようになるという目標のもと、食べる以外にも目で見て実際に触ってみて、匂いを嗅いでみるといった園児の五感に働きかける食育を行っています。また、豆苗やプチトマトの栽培や、職員がふんしたトウモロコシ博士と園児たちが茎付きのとうもろこしを観察する機会を設けています。さらに、そら豆の絵本を読みながら実際にさやから豆を取り出すなどの取り組みも行っています。これらの様子は園のブログにも掲載しており、家庭での食育の実践にもつながっています。

本部の管理栄養士が主体となって、給食に関するサポートを充実させています

給食の献立は本部の管理栄養士が考案し、園の職員が調理・配膳を行う体制となっています。メニューは安全な食材と和食が中心となっており、その時々や行事や季節を感じられるような盛り付けとしています。喫食状況の把握や内容改善の検討は、本部主導の栄養士会議や管理栄養士が園を訪問した際に行っています。毎月の給食日よりでは、郷土食名の由来や旬の食材の栄養価、適正な価格を紹介するなど、食に関する情報発信にも力を入れています。

アレルギー対応手順の遵守やパーテーション設置により安全な環境を確保しています

食物アレルギーのある園児への対応は、本部が定める食物アレルギー対応マニュアルに沿って行っています。対象の園児に対しては除去食を専用トレイに乗せ、テーブルも個別にすることで配膳の間違いや誤食を防いでいます。さらに、引き渡し時に声出し確認を行うことで、提供間違いを抑制しています。また、昨今では食事の際の飛沫拡散防止にも取り組んでおり、食事の前には職員が園児一人ひとりの手指消毒を行うほか、横並びに座った子どもの間にイラスト入りのパーテーションを設置しています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

館内の避難訓練やヒヤリハットの実施により、園内の安全性を高めています

園内で毎月行っている避難訓練に加えて、同園が入っている建物合同の避難訓練にも参加することで、園児の安全に対する関心を高めています。この合同訓練では建物内にサイレン音が鳴り響き、園児たちも防災ずきんをかぶって近隣の大型スーパーに避難するなど、本格的な内容になっています。また、本部をあげてヒヤリハットの強化にも取り組んでいます。職員より集められたヒヤリハット情報は園の週報を通じて本部に挙げ、月次の職員会議で情報共有と対策検討が行われています。特に重要な案件については、毎月の園長会で対応を再確認しています。

近隣の姉妹園に常勤している看護師との連携により、園児の体調変化に対応しています

小規模認可保育所である当園では、原則として嘱託医が園児の心身の健康管理や定期健康診断、職員および保護者への相談対応・指導を行うこととしています。さらに、当園の運営企業は葛飾区内に認可保育所も運営していることから、その園に常駐している看護師とも連携し、園児の体調変化に速やかに対応できる体制を整えています。また、本部主導で行っている月次の看護師会議に園長が参加することで、感染症の流行状況や対策などの情報を適宜入手し、園の職員と共有しています。

連絡ノートや園だより等を通じて、保護者とともに園児の健康維持に取り組んでいます

園児一人ひとりの日々の健康状況は連絡ノートを通じて保護者と共有しています。1歳児の連絡ノートには毎日の24時間の生活の様子を書く欄を設けており、睡眠や体温、排便や食事の状況を時間帯ごとに記録しています。また、1・2歳児では、食事内容や睡眠、排便時間のほか、入浴・沐浴の有無などを、家庭と園それぞれが記入できる様式になっています。ほかにも、園児の健康管理のために家庭で必要な取り組みは園だよりやほけんだよりで連絡しており、感染症予防や視力の発達における留意点などの情報も発信しています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、保育施設の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者はパートナーであるという共通理解のもと、保護者の支援に注力しています</p> <p>保護者と園とのパートナーシップを築くべく、保護者の子育て支援に取り組んでいます。今年度の事業計画にも保護者対応を掲げ、保護者との情報交換や信頼関係構築に向けた7つの具体的取り組みを計画しました。特に保護者への情報発信に関する取り組みを多く計画しており、ホワイトボードや園だよりのほか、ブログ掲載やメール配信を行っています。また、申し送り時の丁寧な対応にも注力するなど、保護者支援の取り組みを強化しています。</p> <p>保護者参加の行事や保護者会を通じて信頼関係の強化に努めています</p> <p>例年、夏まつり・親子ふれあいあそびの両行事では保護者の参加も募っており、保護者が園の保育を体感しながら職員との信頼関係も深める重要な機会となっています。これらの行事にて、日常的に取り組んでいる縁日ごっこやリズム体操などを行うことで、保育内容に関する保護者との共通認識を高めています。また、年2回(4月・3月)実施している保護者会は、保育方針や活動の見通しを説明するほか、保護者同士の交流を図る機会にもなっています。</p> <p>ブログや園だよりの配布を通じて園の情報を保護者に発信しています</p> <p>保護者に対する情報発信の一環として、にこにこブログと題した園ホームページにあるブログを活用し、園児の日常の様子を伝えていきます。更新頻度は月数回のペースとなっており、遠足などの園行事の日以外にも、絵の具を使った野菜スタンプあそびや絵本、ねんど遊びなどの様子を掲載しています。また、毎月の園だよりでも園児の発達や育児に関する情報を配信しており、足にあった靴選びの重要性や季節の変わり目の体調変化のほか、自己主張が強くなってくる時期の大人の対応のあり方など、時節に応じた適切なテーマを取り上げていきます。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 保育施設の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>ハロウィンパレードへの参加や消防署への訪問などを通じて園児の体験を広げています</p> <p>多彩な体験ができるよう、園では地域資源を活用した様々な取り組みを行っています。例年、ハロウィンの時期に園児たちが仮装し、地域の商店街などをめぐるパレードを行っています。また、消防署や交番の見学や神社への初詣・節分会に参加するほか、児童館の乳幼児が遊べる場に行く機会も設けています。さらに、園児が地域に対してより興味を持てるよう、絵本に出てきた床屋さんを実際に見学するという設定のもと、近隣の理髪店に赴くなどの工夫も取り入れています。</p> <p>実習生の受け入れや近隣園との連携による交流機会の拡充を検討しています</p> <p>小規模保育所の特性や運営の状況を多くの学生に知ってもらうべく、実習生の受け入れ準備を進めています。この取り組みは、園児にとっても職員以外の人との交流ができる機会になることから、園でも早期実現に努めています。また、開設4年度目となる当園では、地域との交流にも積極的に取り組んでおり、近隣の保育園との交流を意図的に行っています。現在はコロナ禍ということもあり実現は困難と思われませんが、亀有駅の南北にある保育施設との交流を定期的に行うことで、園児の生活をより一層充実させたいと考えています。</p>			

Ⅲ 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況	9/9
1 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
利用者保護の講評(※利用者保護の内容から3つ(必須)記載してください)			
<p>組織的に情報を共有しながら、園長が中心となって苦情や要望に対応しています</p> <p>苦情解決の仕組みについて、重要事項説明書および入園のしおりで利用者に説明しています。なお、苦情の受付および解決責任者を園長が担っています。利用者から意向や要望の申し出があった際は、「苦情対応マニュアル」に沿って対応しており、申し出内容および対応内容は緊急報告書に記録・保管し、職員間で共有しています。併せて、利用者から寄せられた意見や要望に対する回答をホームページに掲載しています。</p> <p>人権保護や法令順守に向けて職員の理解を促すとともに、関係機関と連携を図っています</p> <p>「ハラスメントと人権マニュアル」「コンプライアンスマニュアル」を整備し、職員に理解を促しています。加えて、「虐待対応マニュアル」を整備し、職員が園児に対する言葉遣いや立ち振る舞いの規範を示しています。また、入社時研修において、園児に対する言葉遣いや立ち振る舞いの方法を指導しています。虐待を発覚した際は、速やかに区の子育て支援課および子ども総合センターに報告することとしています。さらに、児童相談所を中心に専門機関や地域のネットワークと連携を図り、支援を要する家庭を見守る体制を整えています。</p> <p>運営リスクに対してマニュアルを整備するとともに、園長会で対応を検討しています</p> <p>運営に係るリスクの最優先課題として、「事故やケガが発生した時の初期対応」を掲げています。次いで、「災害、侵入が発生した時の危険回避」「感染症が発生した場合の対応」を挙げています。これら運営に係るリスクは、あらかじめ「危機管理マニュアル・防災マニュアル・感染症対応マニュアル」などの各種マニュアルに集約して明示するとともに、発生した際の具体的な対応は法人内の園長会議で検討しています。その他の経営リスクについては、職員の確保を重視していますが、働きやすい環境を整えることで高い定着率を維持しています。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが安全な環境のもと食事を楽しめるよう配慮している
タイトル①	保育士と栄養士、調理員が一体となって食育や行事食に力を入れています	
内容①	さまざまな体験を通して、食べ物への興味や関心を育むことで食べるのが大好きになり、好きな物もたくさん増やせるよう、食育に力を入れています。園では0歳児から色々な食べ物に見て触り、味わう経験を提供しており、4月の春キャベツや10月のさつまいもなど、旬の食べ物とあわせて職員手作りの紙芝居や劇、野菜スタンプなどを使いながら園児たちの興味を引き出しています。また、行事食や郷土食にも力を入れ、毎月給食で提供しています。その内容は給食だよりも掲載し紹介しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	利用者保護(3)	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	園独自の要件や感染症の流行等に沿って事業継続計画の見直し・充実に取り組んでいます	
内容②	事業継続計画(BCP)では、震災等の自然災害によりライフラインが不通になった場合を想定した対応手順を定めています。復旧期間は一週間とし、緊急時の対策本部を東京本部と定めています。これらの内容についての研修を職員会議の際に実施し、職員への周知を図っています。併せて、事故・感染症・侵入・災害などの発生要因を職員会議で分析しています。さらに、対応の実効性をより高めるため、現在も園独自の要件や感染症の流行状況に即した内容の見直しと充実に取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園の置かれた環境を活かし、園児の主体性の発揮に主眼を置いた保育を行っています
	内容	商業施設等に囲まれたワンフロアの小規模園でありながらも、園児の主体性を引き出す様々な工夫が見られます。室内ではワンフロアの空間を、パーテーションやテーブルで区切ることで静と動のコーナーを設け、園児たちが遊び込める環境を用意しています。また、絵の具やはさみを使った紙切り、シールなど様々な遊びが行われています。戸外活動でも自然を感じられる散歩のコースを複数用意し、四季の移ろいを肌で感じているほか、追いかっこやボールあそびといった運動や砂場あそび等の目的に応じて公園を使い分ける、などの工夫が見られます。
2	タイトル	保護者は子育てのパートナーという園の共通理解に沿ったコミュニケーションが行われています
	内容	園の運営を行う保育事業部では「安心し仕事と子育てに取り組める環境を整える」ことをミッションに掲げ、保護者はパートナーであるという共通認識のもと、保護者の支援に注力しています。2020年度の事業計画では保護者対応のテーマの一つに、「保育園での様子をきめ細やかに伝え、家庭での様子も細かく確認する」掲げ、登降園時の保護者とのコミュニケーションを大切にし取り組みました。情報発信にも力を入れており、園の様子を月数回ブログに掲載するほか、毎月の園だよりでは園児の発達に応じた保護者の心がけなどにも触れています。
3	タイトル	より良い運営の実現に向け、職員の働きやすい環境を整えて高い定着率を維持し、職員間の連携を促進しています
	内容	より良い運営の実現に向けて、職員間の連携を促進しながら職員の働きやすい環境を整え、高い定着率を維持しています。今回の評価に伴う職員の自己評価結果において、園長が明るくリーダーシップを発揮していることを好感する声が複数寄せられるとともに、職員自身の努力によりチームワークの向上を図ろうとする意欲も表明されています。経営に対する理解も浸透していることが確認でき、一般職員を含めて一体的な運営を実現していると評価できます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	認知度を高め、小規模保育園ならではの良さを地域に広く伝える活動の強化が期待されます
	内容	園は、家庭に近い環境で、少人数を対象に愛着関係を大切にしたいきめ細やかな保育を特徴とした運営を行っています。このような全国小規模認可保育所数は2019年4月時点で5,000施設近くに登りますが、まだその認知には課題が見られます。この解決に向け、地域の児童館へのリーフレット設置やホームページ等を通じ、園や小規模保育の特長等の周知に取り組んでいます。今後も、地域の子育て家庭に対する情報発信などを通じたさらなる啓発活動が期待されます。
2	タイトル	保育園の運営に特化したハラスメントと人権マニュアルのさらなる進化が期待されます
	内容	園の運営を担う保育事業部の中期ビジョンに「選ばれる保育園となる」掲げ、それを土台に、安心・安全な施設運営と職員行動規則を位置付けています。これを受けて、園では職員のコンプライアンス強化に力を入れており、運営本部ではコンプライアンスやハラスメントと人権をテーマにしたマニュアルを整備しています。これらのマニュアルは図表やイラストを多用した分かり易い表現になっている印象です。一方、その内容は一般企業を想定したものに近いことから、今後は福祉や保育を視点にしたマニュアルに進化させていくことが期待されます。
3	タイトル	保育理念をより分かりやすく表現するとともに、その実現方法をより具体的に示していくことを目指しています
	内容	保育理念や基本的な考え方についてより分かりやすく表現するとともに、どのような手段や技術によって子どもに寄り添い生活環境を整えるのか、これらを具体的に示すことが課題として挙げられます。また、保育の専門家ではない保護者の理解と共有が得られるよう、説明を尽くすことが重要であると考えています。今後、全体的な計画を保護者に分かりやすく開示するとともに、計画の実現に向けて尽力されることが期待されます。